

ふらっぶだより 創刊号

発行：宇都宮市青少年自立支援センターふらっぶ
中央1丁目1番13号中央生涯学習センター4階
TEL・FAX：028-635-5834
発行日：平成21年7月1日（創刊号）

親のホンネ



青少年のホンネ



子どもと、ホンネを話せる関係を築きましょう。
そのために、まず親の価値観を捨て、
悩んでいる子どもの気持ちを理解しましょう。
理解するには「傾聴」です。
目と耳、そしてこころを傾けて聴いてください。

青少年自立支援センターふらっぶでは、いわゆるニートやひきこもりといわれる青少年を社会的自立に導くための総合的な支援や、青少年が非行や問題行動を起こすことなく健やかに成長していくための様々な支援を行っています。

また、『青少年の総合相談窓口』では、専門的な知識や経験を有する相談員が、青少年本人やご家族などからの自立支援や非行防止に関する相談について、一緒に考えながら青少年一人ひとりに合った支援を行っています。

対象 自立支援：おおむね35歳未満の青少年、非行防止：20歳未満の青少年

【相談時間】

- ・月曜から金曜 午前9時から午後5時まで。（ただし、祝日・年末年始は除く）
- ・予約の必要は無く、費用は無料です。

相談専用電話：028-633-3715（みない～こ）

自立支援相談って どんなことしてくれるの？



ふらっぷには多くのみなさんが来てくれます。

青少年本人やお子さんの自立に関して、さまざまな悩みや不安を抱えています。「コミュニケーションに自信がない」とか「就職の面接試験で緊張してしまう」、または「うちの子は就職しても長続きしない」など……です。

わたしたち相談員は、そんなみなさん一人ひとりの声を十分に聴き、青少年自身が持っている解決力を上手く引き出せるような支援を心掛けています。

あなたの大切な一歩、その先の未来へつながるサポートを一緒に考えていきます。



ワンポイントアドバイス

☆あいさつの工夫

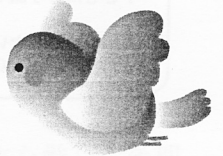
みなさんは、普段あたりまえのように「おはよう」とか「さようなら」など、あいさつをかわしていますよね！この時に、相手の名前を加えてください。

「〇〇さん、おはよう」「〇〇さん、さようなら」って、

これだけでも、相手は心地よさを感じ、あなたに対する印象がアップするはずです。

まずは、家族から試してみてください！！

うちの子、最近なに考えているんだろ～???



どんな子が理想ですか？

う～ん・・・

家では良い子！
外では悪い子！

家ではわがまま甘ったれ！！
でも、外では優しい子♪



やっぱりうちの子は……。

家でも外でも良い子がいいですね。それ当然です！

では、もしも自分の子どもが良い子を演じていたとしたらどうでしょう？

実は・・・

「良い子を演じてきた子どもは思春期・青年期に挫折しやすい!？」とされています。

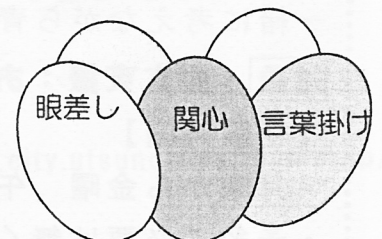
えっ!!なんで!! 驚くのも当然です。

では、子どものこころの成長について考えてみましょう。

子どもは親に愛されたいがために、親が求める自己像を無意識に作っていくものです。

一方、親に関心を持ってもらうためにわざと「怒られる」行為をする子もいます。

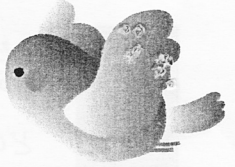
ふたつに共通することは・・・親から愛されたいという欲求です。



親から愛されたいという欲求



非行相談を通して考える 青少年の健全育成に必要なもの



春、雑木林に山ゆりが芽を出す。その後を追ってみると全部がきれいに花を咲かせてはいない。虫に食べられたり、つたに絡まれるなど・・・。

「早くに対処すればきれいな花を咲かせるはずなのに」と、いつも考えてしまう。最近の非行相談は、◎性の問題 ◎金銭持ち出し・万引き等 ◎家庭内暴力等 が目立っている。どの相談も、共通して考えさせられることは、「家族の絆はしっかりしているか」 “子どもが安心していられる居場所があるか” “身近に信頼できる人がいるか” といった『基本的な生活環境の場』があるかだ。そして、早めの対応が出来るかどうかである。

私たち大人は、大人としての責任で子どもたちの持っている素晴らしい力を出せるように、時には暖かく、時には厳しく見守り、子どもたちの花をしっかりと咲かせる土台を作っておくことである。例えば虫に食べられたり、つたに絡まれたとしても、『基本的な生活環境の場』があれば、子どもたちは色とりどりのきれいな花を咲かせることが出来る。

マロニエのひとこと ~ふらっぶの相談員がおすすめる本~



私は、まちかど広場にたたずんでいるマロニエの木である。太陽に照らされ風雨にさらされながらも、毎日毎日行きかう人々を見守っている。

ある日、一人の女性が私の前に立ち止まり、おもむろに「子育てって難しいですね。」とつぶやいた。

私はその女性から詳しく話を聴くと、子どもへの接し方に迷いが生じているようであった。私は、ある本を思い出した。「つきのよるに」という絵本だ。動物の親子の話であるが、母親が子どもの成長を暖かく見守り、そして子どもの自立を厳しく後押しする、親の深い愛情がこめられた内容である。私はその女性に、一度読んでみると良いと言った。女性は、「はい」と笑みを浮かべ、私の前から静かに歩き始めた。

「つきのよるに」 いもと ようこ/作・絵 岩崎書店 3歳~小学校低学年向け

※ご両親がお読みになるほか、お子さんへの読み聞かせにも適しています。

※市立図書館などに収蔵されていますので、ぜひご利用ください。



◆相談専用電話 028-633-3715 みない〜こ

◆ホームページ <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>

◆メールアドレス u18060101@city.utsunomiya.tochigi.jp

